

2023年度事業報告書

(2023年4月1日～2024年3月31日)

1. 概況

2023年度も従来通り、公益財団法人上原美術館として各種公益目的事業活動の推進を基本とする運営を目指した。

運営においては、感染症対策を通常業務に位置づけ、展覧会、実技講座の開催、トークイベント、ワークショップなどを実施した。

展示は継続事業となる仏教美術調査の成果を発表した特別展『伊豆仏に出逢うー上原美術館の40年』のほか、館蔵品の個々の魅力を紹介する『上原コレクション名品選』等を開催した。

今年度も引き続き学芸員が下田市をはじめとする文化財保護審委員や河津町史編纂委員会副委員長を務め、地域文化の保護に努めたほか、静岡県博物館協会事業推進グループの委員に参加し、県内の文化向上への貢献を図った。収蔵品や寺院調査にもとづく調査研究を引き続き実施し、講演や専門誌を通じて学芸員が研究発表を行った。

また引き続き美術館の安定的、継続的な事業運営を目指して上原美術館中長期計画を検討し、次年度以降の事業計画及び、修繕工事などの実施スケジュール策定に向け準備した。

2. 上原美術館の運営管理(定款第5条第1号)

ー 2023年度美術館入館者及び収入実績

2017年のリニューアル・オープン以降、仏教館・近代館共通で、大人1,000円、学生500円、高校生以下は無料とした。

公益財団法人 上原美術館			
入館者数	入館収入	図録等販売収入	収入合計
11,863名	886万円	106万円	992万円

[入館者内訳]

* 大人	10,860人
* 学生 (大学生、専門学校生)	204人
* 高校生以下	799人

3. 美術品の展示及び公開(定款第5条第2号)

(1) 企画展

【仏教館】企画展 きれいな仏像 愉快的江戸仏 【近代館】企画展 上原コレクション名品選 雨をたのしむ	
開催期間	4月29日(土・祝)～9月24日(日) [149日間] 出展作品数 84点 入館者数 4,166名
内容	仏教館は新収蔵品の仏像と伊豆半島に伝わる江戸時代の仏像を紹介した。近代館は新収蔵した鏑木清方《木母寺夜雨》を中心に雨にちなんだ作品を展示した。
【仏教館】特別展 伊豆仏に出逢うー上原美術館の40年 【近代館】特別展 絵画は語るー上原コレクションのストーリー	
開催期間	10月7日(土)～2024年1月8日(月・祝) [94日間] 出展作品数 72点 入館者数 4,066名
内容	仏教館は創立40周年を記念して、事業の柱の一つである伊豆半島の仏像調査を振り返る展覧会を開催した。近代館は上原コレクションの成り立ちを紹介し、各作品にまつわるコレクションのエピソードを紹介した。
【仏教館】企画展 時の結晶仏教美術ー上原コレクションの40年 【近代館】企画展 上原コレクション名品選 春の訪れ	
開催期間	2024年1月20日(土)～4月14日(日) [86日間] 出展作品数 77点 入館者数 3,631名(2024年3月31日迄)
内容	仏教館は創立40年の間に収集した仏教美術コレクションから十一面観音像などを中心に展示した。近代館は安井曾太郎《桜と鉢形城址》を中心に春の訪れを感じさせる作品を紹介した。

(2) 教室生徒の作品展(※入場無料)

全教室の作品展をアトリエにて実施した。

教室名	開催期間[開催日数]
仏像彫刻教室	2月21日～2月25日[5日間] 出展作品数 29点 入場者数 81名
写経教室	3月5日～3月9日[5日間] 出展作品数 19点 入場者数 59名

デッサン・水彩画教室	3月20日～3月24日[5日間] 出展作品数 22点 入場者数 126名
日本画教室	3月27日～3月31日[5日間] 出展作品数 20点 入場者数 119名

(3) 館外出品

国内外で開催された3展覧会へ収蔵品の貸出を行った。

展覧会名	「Van Gogh and the Avant-Garde: The Modern Landscape」 於：① Art Institute of Chicago/ ② Van Gogh Museum, Amsterdam
開催期間	① 5月14日(日)～9月4日(月) [114日間] ② 10月13日(金)～2024年1月14日(日) [94日間]
貸出作品	ポール・シニャック《アニエール、洗濯船》
展覧会名	「ゴッホと静物画 伝統から革新へ」 於：SOMPO美術館
開催期間	10月17日(火)～2024年1月21日(日) [97日間]
貸出作品	ポール・セザンヌ《ウルピノ壺のある静物》 オーギュスト・ルノワール《果物の静物》
展覧会名	「モネ 連作の情景」 於：① 上野の森美術館／② 大阪中之島美術館
開催期間	① 10月20日(金)～2024年1月28日(日) [101日間] ② 2024年2月10日(土)～5月6日(月・休) [87日間]
貸出作品	クロード・モネ《ジヴェルニー付近のセーヌ川》

4. 美術品の収集、整理及び保管(定款第5条第3号)

(1) 美術品の収集

本年度は、以下の作品を購入した。

購入作品	
作者名	作品名
不詳	諸尊画像集断簡(青面金剛図)
不詳	諸尊画像集断簡(八大童子図)
不詳	弘法大師絵巻断簡
アンリ・マティス	裸婦
アンリ・マティス	果物皿の傍らに立つオダリスク

梅原龍三郎	釈迦三尊と父
須田国太郎	モヘンテ
須田国太郎	滞欧写真一式
小林古径	井筒
小林古径	いでゆ

本年度は以下の作品の寄贈を受けた。

受贈作品	
作者名	作品名
アンドレ・ドラン	ヴェールを持つ裸婦

(2) 美術品の整理及び保管

上原美術館では、引き続き温湿度や空気質、電力使用量のデータ収集分析等、館内の環境調査を専門家とともに実施し、美術品保存環境の維持に努めた。また、IPM(総合的病害虫管理)の考え方に基づいた文化財害虫やカビの予防管理も行った。

5. 美術品に関する調査研究及び研修会、講演会等の開催

(定款第5条第4号)

仏像彫刻教室		
講師[仏像彫刻家]	受講者	開催日時
岩松 拾文氏 大谷 文進氏	29名	毎月1回(年12回実施) 第3日曜日
写経教室		
講師[書家]	受講者	開催日時
山田 修也氏	22名	毎月1回(年12回実施) 第2日曜日
仏教美術講座		
講師	受講者	開催日時
当館学芸員(交代)	27名	毎月1回(年10回実施) 第2日曜日
デッサン・水彩画教室		
講師[現代美術作家]	受講者	開催日時

小野 憲一氏	13 名	毎月 2 回(年 22 回実施) 第 2・4 水曜日
日本画教室		
講師[日本画家]	受講者	開催日時
牧野 伸英氏	15 名	毎月 2 回(年 22 回実施) 第 2・4 火曜日

(1) 調査研究

今年度は以下の寺院調査、実見を行った。

- 函南町・東光寺調査(2024年2月27日)

(2) 研修会の開催

今年度も仏像彫刻教室、写経教室、仏教美術講座、デッサン・水彩画教室、日本画教室、の 5 教室を開催した。

(3) 講演会の開催

今年度は開催しなかった。

(4) ギャラリートーク等の開催(会場：上原美術館)

ギャラリートーク 講師：当館学芸員

計 12 回開催 参加者合計 347 名

(5) ワークショップ開催

(講師：当館学芸員、牧野伸英氏、小野憲一氏)

今年度は以下のワークショップを開催した。

ワークショップ名	開催先	開催日	参加人数
はじめての日本画体験	伊豆の国市こども教室	7月27日	14名
親子で「日本画」 絵の具あそび	上原美術館アトリエ	7月29日	29名
せかいでひとつだけの がくぶちをつくろう	伊東市伊東図書館	11月18日	29名
おとなの日本画体験	上原美術館アトリエ	2月12日	12名

伊豆の国市こども教室は伊豆の国市生涯学習課が主催し、当館へワークショップ開催依頼があり協力を行った。

(6) 外部からの依頼による講演会開催(講師：当館学芸員)

講演名	開催日時	聴講者
静岡市・菩提樹院での講演	5月24日	70名
SBS学苑での講演	5月24日	30名
MOA美術館での講演	5月26日	20名
下田市寿大学での講演	6月21日	65名
東京都三田・龍原寺での講演	10月14日	7名
東アジア文化都市 2023 静岡 東アジア DNA の源流と、文化・芸術の多様な未来	10月15日	40名
かなみみの里美術館でのボランティア ガイド向けの講座	10月24日 11月7日、21日 12月5日	15名
日本自動車販売協会での講演	10月19日	20名
浜松市美術館での講演	11月12日	100名
河津町谷津区での講演	11月26日	15名
下田市史講座での講演	10月24日 12月19日	29名 20名
三島市立図書館での講演	2024年1月21日	150名

(7) 動画による教育普及活動

日本画教室講師の牧野伸英氏に協力をいただき、日本画の描き方を紹介する動画を YouTube 上にて公開した。昨年度より始めた動画は、日本画への関心を高め、また教室への参加の一助となっている。

6. 美術品に関する資料の収集、保管及び公開(定款第5条第5号)

調査研究、公開を目的に美術関係図書や美術関係資料等、また仏教美術、伊豆半島の地誌を主体とした調査研究に関連する書物を収集した。

- ・本年度の収集図書数 377 冊(仏教 204 冊、近代 173 冊)

7. 美術品に関する解説書等刊行物の作成頒布(定款第5条第6号)

	内容

年間展示予定	2023年度の上原美術館展示案内を作成。 1年間を通して開催する展覧会と当館の紹介を行った。
ポスター等	展示会毎にポスター・チラシの作成頒布。
美術館だより	年4回発行。 (1回約4,000部を無料頒布)
その他	展覧会ごとに出品リストを作成し、来館者へ無料頒布したほか、解説動画を作成し、館内での放映やウェブでの公開を行った。 企画展『きれいな仏像 愉快的江戸仏』ではフォトブック、小企画展『ペリーが見た幕末日本と下田』では小冊子、特別展『伊豆仏に出逢う』では展覧会報告図録、特別展『絵画は語る—上原コレクションのストーリー』では展覧会書籍を作成し、希望者には販売した。

8. その他目的を達成するために必要な事業(定款第5条第7号)

地域の教育文化の向上を目的として、今年度も高校生以下は年間を通して無料とした。静岡県内全児童を対象とした事業「キッズアートプロジェクトしずおか」に協力を行った。

また、小中学生、高校生を対象とした出張授業や授業入館、学芸員を目指す学生を対象にした博物館実習、教職員の外部研修受け入れも継続して実施した。

その他にも、静岡県博物館協会事業推進グループのほか、市町の文化財保護審議会委員を学芸員がつとめ、地域文化向上に寄与した。

(1) 学校教育との連携

今年度も以下の学校教育との連携をはかった。出張授業は、主に伊豆地域の小・中学校、高校から依頼があり、奈良・京都方面の修学旅行の事前学習や、美術鑑賞教育を行った。

また今年度も昨年度に続き、静岡文化芸術大学と提携し、学芸員資格の取得を目指す学生の博物館実習受け入れを行ったほか、大学で博物館学の出張授業を実施した。静岡文化芸術大学とは今後も継続して学生の実習受け入れを行うことを予定している。

- ・ パスポート入館者 合計 92名
- ・ 出張授業 6校(6回) 合計 461名
- ・ 授業入館 6校(8回)、1園(1回) 合計 360名
- ・ 教員研修 1名(下田市立朝日小学校・中堅教諭等資質向上研修)
- ・ 博物館実習 5名(静岡文化芸術大学、聖心女子大学)

(2) 美術館の安定的、継続的な事業運営を目指して、中長期計画の検討を昨年度より実施している。開館以来、仏教館は40年、近代館は23年が経過し、今後、具体的な建物の修繕計画等が必要となるため、耐震調査、地盤調査、インフラ調査、館内環境測定結果をもとに、建築コンサルタントとともに現状の把握と将来計画を検討した。2022年度予算からこれらの調査にもとづき、近代館の修繕に必要な予算積立を開始した。

(3) その他

地域文化への貢献として、田島整上席学芸員が引き続き下田市、伊東市、河津町、南伊豆町、富士市の文化財保護審議会委員として各市町の文化財指定や文化財保護に関わった。町史編纂事業では、河津町史編纂委員会で副委員長をつとめ、河津町史編纂事業に携わった。また南伊豆町史編纂委員の活動も行った。

土森智典上席学芸員は昨年度に引き続き、静岡県博物館協会の事業推進グループに参加し、静岡県内の美術館・博物館等との連携構築、講習会の開催や災害時の加盟館・園の協力体制の整備を行った。

以上